

	<p>令和 3 年第 9 回奥出雲町教育委員会定例会会議録</p> <p>日 時 令和 3 年 9 月 1 5 日（水）</p> <p>開 会 1 4 時 5 5 分</p> <p>閉 会 1 6 時 2 5 分</p> <p>場 所 横田庁舎 2 階 第一会議室</p> <p>出席委員 福田充雄教育委員 荒金勇吉教育委員 谷尻圭子教育委員 高橋美奈教育委員</p> <p>委員会事務局 永瀬教育魅力課長 吉川結婚子育て応援課長 岸本教育魅力課課長補佐 長谷川教育魅力課長補佐</p>
教育長	<p>（新学期の状況について）</p> <p>参加者 4 名</p> <p>※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言</p> <p>※会議録署名委員 荒金委員</p>
事務局	<p>報告第 10 号 奥出雲町議会 9 月定例会の一般質問について。</p> <p>※資料により説明</p> <p>（質疑なし）</p>
事務局	<p>報告第 11 号 令和 2 年度補正予算（9 月補正）について</p> <p>※資料により説明</p>
教育長	<p>耐震化が終わっていない三成・布勢小学校の 2 校について耐震化の代わりに代替校舎を出したが、金額、場所について意見を貰っており、議会でどのような形なるか現状分かっていない。</p>
福田委員	<p>布勢小学校の代替校舎だが、必要がなくなったら取り除くのか。</p>
事務局	<p>現段階では令和 7 年 4 月に予定している統合再編と併せて進めており、順調に進めば代替校舎は撤去する予定。撤去費用を含めて上限設定をしている。</p>
福田委員	<p>布勢小学校の校舎はどうするのか。</p>
事務局	<p>未耐震の校舎はどこかのタイミングで解体することになると考えている。解体の為だけにお金を借りる事はできないため現段階では手持ち資金から費用を出すことになる。布勢小学校校舎跡地に何かしらの施設を建設することになればその経費と合わせて解体費用も借りられるが、現段階で解体する時期を明確に伝える事はできない。</p> <p>（その他質疑なし）</p>
教育長	<p>報告第 12 号 新型コロナウイルス感染症への対応について</p> <p>県から飲食店での会食は 9 人以内、部活動は 3 時間以内と通達が出ている。町か</p>

	<p>らはそれを目安に各学校で対応することになっているが、両中学校とも 2 時間で設定している。</p>
事務局	<p>※資料により説明</p>
教育長	<p>奥出雲町では幸いここまでの事態に至っていないが、万が一の事態を考えてこのような資料を作成した。質疑は？</p>
谷尻委員	<p>幼稚園や放課後児童クラブなどはどのような対応になるのか。</p>
事務局	<p>幼稚園は仁多福祉会と協議をしており、本人または同居家族が感染した場合は閉鎖する。また、小中学校と同様に家族で検査をした場合は連絡をして欲しいと各園から保護者へ依頼している。</p>
教育長	<p>放課後児童クラブは、該当する子供たちの状況によって個別に判断をしてもらう。県内でも感染者が減ってきたが、この後どのような状況になるか分からない。</p>
谷尻委員	<p>幼稚園、放課後児童クラブが閉鎖してしまうと自宅で子供の面倒を見るために保護者が仕事を休む必要が出てくる。だからそうなって欲しくないと思っている。</p>
教育長	<p>この対策が杞憂になればいいが、用意しておかないといけない。町内では順調にワクチン接種が進んでおり、一部町外に住所のある教職員も接種してもらえるようになった。そのため、希望した教職員がワクチン接種を受けている。</p> <p>(その他質疑なし)</p>
事務局	<p>報告第 13 号 小学校再編協議の状況について</p> <p>※資料により説明</p> <p>第 3 回目の代表者会議を 9 月 27 日に横田地域、29 日に仁多地域で予定している。様々な方面から再編後の学校がどのようになるか伝わってこない、そこを具体的に説明して欲しいと要望があった。この会議で改めて再編後の学校は何を目指し、どのような想像し、どのような課題があるのか整理をした資料を配布する。再編がすべての問題を解消するわけではないと準備会の時点から各校区へ教育長が説明をしている。</p> <p>全ての校区が統合した場合、仁多地域は全学年が 2 クラス、横田地域は 3 年生以外 1 クラス編成になる予定。資料の教職員の人事配置、町職員の配置は確定ではない。第 2 回目の代表者会議でレイアウトが分からないと検討が出来ないと意見があり、出来るだけ早く提示したいと返答をしたが、様々な調整が上手くいかず完成していない。22m×80mの校舎を仮定すると面積 1,760 m²になり、3 階建てにすれば 5,200 m²程度の延床面積の校舎になる。総合教育会議の際に試算したものは 4,300 m²だったためその程度の規模は確保できると認識している。バスの乗降場所は護岸道路側を拡張して校庭を広くとりながら校舎も確保できると認識しており、プールも解体して校庭にする。</p> <p>しかし、ここで配布した資料を代表者会議でそのまま提示できないため下部の写真のような形で提示できないかと考えている。予定地に民地が含まれているため、該当する土地の方へ事前に説明をして提示する準備をしている。これを元に各校区で検討して欲しいと思っている。多少資料を整理するかもしれないが、これを基本</p>

	<p>に各校区の代表者に説明をし、仁多地域に対してはレイアウト図を提示する、9月の代表者会議はこのように進めたいと思っている。</p> <p>この資料の数字は見積金額。統合小学校建設関係の費用、三成小学校の代替校舎の費用も含めている。これに用地取得、体育館改修予算、バスの乗降場所の確保の工事を含めると24億円弱になる。別途、布勢小学校の代替校舎に2億3,000万程度必要。ここまでの金額は総合教育会議で出したが、実際に再編を進める際に仁多地域は新しい校舎を建築するため特別教室に冷暖房が設置されると想定されるため、横田地域の統合小学校にも同等の設備を設置する必要が出てくる。冷暖房の設置や改修をすればそれなりの金額が必要になる。</p> <p>奥出雲交通と登下校に利用するバスについて協議している。仮に今の体制では全ての校区を賄えなければバスを4、5台購入し、ほぼスクールバスのような運行をする路線を作る必要も出てくると考えている。そのバスの購入費用も必要になってくる。</p> <p>仮にすべての地区が統合すれば各地域で小中学校1校ずつになる。その給食を2か所の調理場で準備するのかという話が今後出てくると想定される。各調理場で人手不足の現状があるならば、今後は1か所で運用した方がいいという想定もできる。その運用に移行するための費用が必要になってくる。</p> <p>今後、再編が進んでいけば新しい学校の校章、校歌等の作成、閉校開校記念事業、バス停などの費用も必要になってくる。スクールバスは法律上、路線バスのバス停を利用できないためスクールバス専用のバス停の設置が必要であり、その整備にも費用が必要になる。また、低学年の児童がバスに乗降する際のサポート員配置の要望も出ている。代表者会議で保護者からマイカー通学を認めて欲しいと要望があったが、マイカー通学への補助金の有無、ICT支援員等の配置、統合後に使用しなくなる校舎を拠点施設として利用する際の改修や運営費などかなりの費用が見込まれている。</p> <p>9月の課長会では財政が厳しいと説明があった。再編をしようとするると他の事業の進行が難しくなる。4,000㎡程度の校舎を仁多地区の統合小学校として新しく建築すると16億円程度になると試算している。国はその半分の補助金として出すと話しているが、1㎡の単価が決まっており建築にかかった費用の1/2ではなく基準単価を面積にかけたものが補助金額になる。それを元に試算すると約6億円程度の補助金しか出ない。残りの10億円は自分のところで負担をしなければならない。10億円についても過疎債、返すお金は国が面倒を見てくれて返すお金は3億円程度になる、お得な借金があったが、過疎地域が増加して奥出雲町が使える金額が減っている。昔は15億円の過疎債でも利用できたが、今は11億円程度になっている。そのため様々な場面で金を使う必要があると意見を聞くが、現実的にバランスを考えていかないと教育以外の部分影響が出てくる。出来る限り要望を聞きたいと思っているが、バランスを取って行かないといけない苦しい状況。そのため住民には当面の間不便や負担をかける可能性が高いことを承知しておいて欲しい。</p>
谷尻委員	国の基準単価では立派な校舎を建築できないのか。
事務局	この基準単価が低いのかは分からないが、これは八川小学校を建築するときこの基準単価だったと記憶している。
谷尻委員	八川小学校を建築するときはかなり補助金が出たのではなかったのか。
事務局	結果的には事業費全体の補助金の割合は3割程度だったと記憶している。そこに過疎債が全て入っていれば町の負担は少なかったかもしれない。過疎債も過疎地域

	<p>が全国的に増えた結果、過疎債の仕組み自体も見直されているので昔のようにどんどん建築することが出来なくなっている。</p>
谷尻委員	<p>過疎債にかなり助けられた時期があった。</p>
事務局	<p>現在は雲南市でも過疎債が利用できる。この資料は代表者会議では提示しないが、委員の皆さんには承知していて欲しい。</p> <p>(その他質疑なし)</p>
事務局	<p>報告第 14 号 全国学力・学習状況調査の結果概要について ※資料により説明</p>
教育長	<p>この概要については広報への掲載を予定している。後期学校訪問はコロナ感染が現状のままであれば去年よりは若干人数制限を緩める可能性はあるが、現段階では昨年度並みの人数制限をお願いする予定。 児童生徒が自身の目標に向かって頑張る状態が少しずつ出来ていると思っている。それを支えるのが教職員。研究会がコロナで中止なるなどはあったが、大きな問題はなく教育活動をしてきていると思っている。</p> <p>(質疑無し)</p>
事務局	<p>その他連絡事項 (三沢幼稚園統合の検討経過) (CIR について)</p>
教育長	<p>3 か年に渡って勤務している現国際交流員が 9 月末を持って退任し、インドへ帰国する。町から感謝状と共に本来であれば見送り会を開きたいが、コロナのため教育委員会の中で見送る。インドとの交流は今後どのような形になるか分からないが、機会があればコロナ終息後にホッケー競技場を活用できる交流が出来ればと思っている。</p> <p>< 次回定例会は 10 月 20 日 (水) 午後 3 時より (予定) ></p>
署名委員	<p>会 議 録 署 名</p> <p>荒谷勇吉</p>
教育長	<p>松田武彦</p>